【包頭十七日同盟】快速部隊主力は十七日午後四時蒙古軍先遣部隊と共に東門より堂々包頭に入城した、包頭の市

選出により同日午後五時早くも縣政府が組織され治安維持會も成立し保安隊も快速部ほと協力し敗殘兵の掃蕩に民は戸毎に日章旅を掲揚し日蒙兩軍に歡迎の意を示した。縣政府は嬰人の逃亡で全く機能を失つてゐたが市民の

留つてゐるなど何れも内蒙古軍に對し歡迎を示してゐる

海南子 (包頭外港) を占領す

其一一一年 日本 こっちを変すべくの調を適見しまる方面に動しる中二子の繁生物と後の時の十分包頭質のエトリー 回地は包頭外港として五原方面及事夏省と黄河主流を繋ぐ要荷に當り我軍は黄河上流の舟航機を完全に把握して包頭十七日同盟工村部隊に引護さ包頭に入城した田中部隊は直ちに南進、包頭南方二里の海南子を占領した。

包頭綏遠間の列車運轉開始

八日早朝より包出午後一時十

O

包頭を占領せり、○○部隊も同日午後四時入城せり、市内は平穩にして皇車に對する威情も概ね良好なり、「包頭十七日同盟]テャハル軍○○部隊十七日午後六時發表=川村部隊は十七日午前十時五十分(東京時間)宗

早くも治維會組織さる

は大谷娥(太原南方)を馳戦、連音を立て、我が荒്紫部隊の〇〇

|際の補臨に離の最大操動にる太原||する欄を攻撃し場合部隊の〇〇欄後二時の二回にわたり我が鳥田部||我が空軍門隊はな任も執拗に模抗 減した。また同日午前八時及び午 キロ)を埋撃銃に大打撃を乗へた。現して五往左往、大洪観に路り造| 日山西飛行権大谷 (太原南方五十

に對して徹底的大量事を加へ同地 除は十七日子前十一時〇〇茶地を

時四十分戦の根據地大

た十七日早朝秋空に好調子の 〇十七日川は一からりと晴れ

将城内に集結しつ」ありし山西

大部隊に對し延兆東東
立大場 の軍事重要的を嫌破して敵の後方 | 出發午後一

主力部隊。包頭に入城

は、 のでは、 のでは、

防戦と強固な緊急によって頑強に 伝統する酸を繋破し川村部隊はそ

乗ち登らうとして射も確される者

清、木一本もない陰山の峻線に

確保した本戦闘において酸死者は も残らず戦波し午後十時包頭職を

教友住左往し黄河に飛び込み崩れ

射ち出す我軍の蘇聯に蘇は統を主急退又急退、進行中の車上上 微山々脈に迫る脳路を西走する

たよって頭頭に抵抗する酸を一兵松浦部隊は包頭職構内の数甲列車

~日室旗を捌けた、時に午前十時 し娘魅上の確を迫ひ飲らし部隊長

な光頭に北門より堂々入城城頭高

り)那臓と共同作戦をとり資何

選工作はことにその大争を完成

美に入鋏した。かくてわが新

七日末明にかけて包頭を最後の 【包頭十八日間壁】十六日後より 包頭占領まで

量大の略

蘇聯、外蒙、西北支を結ぶ

除幹線破壊さる

國民政府の邊境策も今や畵餅

包頭占領の重要意義

こんを失ふことはソザエー

を教行はり(三) 京温 を教行けり(三) 京温 を教行けり(三) 京温 にんじゅう

子。持

知。即。感激

けれて落る。住宅 住国後唯俗に及て松

三元本 (本本) 大 (本本) 大 (本本) 大 (本本) 本 (本本

子供

が笑ふ

対 よ

h

◆◆…かくてこの包頭は肺薬薬士

都市であるが、こしに特に重要 における歴史的中心となるべき

南部級にないては夢里、是安に ・ 中のトラック神には撃を加へ流れ ・ 中のトラック神には撃を加へ流れ ・ 中のトラック神には撃を加へ流れ ・ 中のトラック神には撃を加へ流れ

沙

Ł

पु

12

世性変を

上海十七日同盟 第三線線報道 後九時薨後——(一)海軍腕| を無七と化せしめ自相邦隊は企家 空爆^{城</sub>} 暴逆支那機の爆彈 指揮する部隊は呼家口の敵陸地に 小川中野などの

さり 前令部及び唐橘館南端 を避職せる他浦果衛州

植尼方應丸

,ځ,

ì

7-

3

私

12

は

2

*

7

9

¥

強く

感じ

赤十字病院に落下

四七兩師は殆ど領域機態に陥った 千五首以上と推定され支那軍騎兵

ボイコツト反對 出し残食は目下妊娠中である に落下し入院患者数名に重傷者を 焼き打ちに來り虹口、楊樹浦を目

上海十八日同盟一階飛行機は軟一四時十五分解機関をその一頭は我一

が中部小學校裏手の工部局避病院

ボイコット運動が特局によりつとあるが平和機種

為12

怯

n

近しいけ

ボイコット反射の影明 発であるとなしナ七

7 7 8

私

の愛り

b

左"

17

では

重傷

5,

3

J,

্

13

视

は

屈れな

٧,

,۲۰

4.

(赤十字柄院に認定されてゐる)

米平和團體が發表

んであらう、我々は日 ズムの単調を誘致陽化 アメリカ國内の軍関主 ポイコットは既に深

藥良鬼小

疾風迅雷

【豊樂鎮十八日同盟】我が快速列車追擊隊は馬頭鎭、光錦鎭、磁州と群る敝を撃破して十八日午前四時五十分省

を突破し遂に河南省内に最初の日章旗を飜した 【天津十八日同盟】天津軍午前十一 |時三十分發表||十八日午前三時十分鐵道進与隊は碓州を占領、隻甲列車は更に

馬頭鎭北側を占領

日島頭嶼北側蜑門河々単を占領領でを横げ艦を管理しつよめるが十七 北百分配別の西明十キュの地鑑で一ろ前和を占領引続き高速中北百分配別の西明十キュの地鑑で一ろ前和を占領引続き高速中 層所隊の列撃迫撃隊は驀進に驀進 当機を消滅中である、馬頭鏡に河 一百の魔を攻撃向九時之を最終し 十六日配像児用方言里の地質にあ 【石家莊十七日河監】柏鄉門除什 順徳の東南方 南和を占領す

「施而十八日回盟」 遊師皇部八十 津浦線各地を爆撃

世十七日歌神歌歌女·萧歌·元州 日午前十時東省「毎〇種様〇〇 分後を原放官権で京協通書 生た

各道學務課長

施療統の反撃を目し軍用機関加入

軍用貨電力調を大阪けしめた

鬼城間及「魔娥」 中在間を爆撃

各直與所謂 以 與勘官會語位十 視門官會議

起は内閣会議の初組合せに列立「日初旬本府に開催される論定で

萬國赤十字 社代表ド•ワッド

寫眞上から快速部隊の

松岡孝議東上 智慧

女は一般物大官の事後者

内を経済が出

国頂に、「海を石み県 入十八師の背後が発し 対抗の一般の中規単に ったものともなる 2行さかけの駄 程ぎ かくいへば、安都を買 和を殴り、アジナの 海蛇脈とあった

れぬらの



では個質氏の繰り、 地立黄 日午後三時廿八分京樹 位産の眠び、人の皮 段四時開樹院形のため(大英駆張公會總券) 八日新京へ 入城中の 一人 1111 の解決に横は1ろ經濟の高外法態機廠(一) MAC よく in Birth (大英聖書公會) 加上 大英聖書公會」徐俊 屋樋 應告 3 がレ

のませて下さい -信奈-

こう云ふ時にノ

用海

独+二 缝+三 独+五

t, (🔨 か

3 12-- B--20

徳(軍の則揚(一)日で法の適用(一)在支

養地 で ż

南方二里にある双廣驛に突進、同四時半河南省境を突破せり

さんが、冷寒な気のと小面()地で変をとらぬと小面

然り だかりでかく|| 支操も軍 だかりでかく|| 支操も軍 もらの母で先様の部乳

**と梅民汝府の東のよう。 既作して、為一を待みつ! (一条例や絵雕やその他!

輸出額一億圓をめざして

選挙が煩をはいて突撃の | に工場を持つ英米トラストの領す | ・関章歌ふならピジョンやマコー 英米トラストのノツクアウツトを期す 通り東亜の大局は日支剛圏の北

流して相互協力の下に安定

ました動語の海難旨に依て明り

今回の 支那事變

中央朝鮮協會阪谷

曾長メツセーヂ 卒

この北、駅に選出 ・芝一でありますが、我半島に終て今日に外ならないのであります前して「製図の赤壁を致すは悪し気給の事

之一でありますが、我半島に於て今日 断くも嫌心なる愛國心の競繹を見

たいのでありますが消後の膨脹が

一時頃、建化河畔の薬と飲つた山

湖を提げ頭前へ参り南陽香棚下に 受して厚く船接野を串送べ悪賞を 頭じて各位へ欣快の情を披煙致し

第でありまして私は此の際此の感

たるものとして形家の名音學に

に堪へない次第でありまして、日

既をなし居らるのは質に感謝。内地朝野を繋げて聴謝致し居る次

壯絕、最後の命令

『最後まで突撃しろ

彈、山口部隊長

ることになり、中島主津は食品のメッセージを擦行して十七日夜入螻、十八日午前十時本府に南穂皆を訪問して支の 起してゐるが、中央朝鮮総合々長政谷労邸男は南穂菅以下半島官民の熱談に慰謝し中島総合主事を代理として記述す **金那不要物が以来、半鳥に現けれた強烈な愛國心の發露、内鮮一體の耳現、乾後の熱欲は内地各方面に一大衝動を捲**

…… 南總督へメツセー

阪谷中央朝鮮協會々長から……

内地朝野を擧げて

半島の赤誠に感激

伝説費の目の丸大行進の小 の高端を三唱した京里

首年職を合けるとか

午前中嚴かな例祭執行され 午後からごつご人出で賑

けふお祭り騒ぎに代って

眞心籠る京城神社祭

内は豪祥者で理まり午後に入るや

府を始め在城官 高層して行つた

一萬の職員は午後から自由第一を職別に執行し社頭の祭りの意識。自由参拝を行ふ旨譲渡した

知つて艦徹しました、どうぞお日本女性の心臓い総後の周めを思處日報であたたの健気な覺悟

学明人々に使及と共に選げた

第二日ず九日午前十時 ら大祭式 殿 高の縫り出しは中止されたか森

行される陶器肚京媛腓肚の秋季例

配十一時半春へた、一続所民の金

銘酒ケイリン

か昨日までの褒氣も去つて晴れ渡 れた。氏神像の祭りを説解して

野社のお祭は十七日の前夜祭に、の併進使甘麗知事が既員を後へ幣一度七十萬京城府民の民跡保京(つた栖野の祭典日和だ、衣服正提 の寒寒は南山々蔵の消器の降級に物を来進、この間正骸な狙、麻緊

本紙特報出征美談の二家族へ

續々と温い情の申出

る馬送」一つは「蛇後を震

二人の兄を

第一級に盗

でもの家族のガャへあげて下さい 族の京城元町二ノ二大庄田茂雄氏 け込み名前を皆けず立ち去り と十七日中年の製品ある婦人が現 等面入りの計局を本配受付! 赤紙が舞込

整線の地方巡回艦隊育を開催する機等教育育期鮮本部では非常時局

客京城沿水町以下不道宋在客

6、18、10

通傳染兩病室完備

御試聴下さいノ最寄特約店にて

京弘府京山町一丁目

イケダ小兒內科病院

聖 油田勝三

歩門な口首り

降してそのよる東大門婦人病院に

界資事業の

半もダンと上のものを 上に立つほどの方々は して献き度いものです

一帯職し始めたので他の乗客を指し、といる首の女が突如鹿梨つい

上には

の帽子が御座

地方講演會 國防教育會

お日出度電車

の正情を終った手紙を添へ『無名 町エノ六〇九一市合の



緊張の祭りに

原南成安郡。原南北州里安・氏は 丁七日午後八時ごろ 西大門 客に田 威激して献金

緊張した軍国氣分が所に横径して ねるのに慰覚し前記試金をしたも

まず、時局は繋びの難く所如何に

尚ほ廿七日京城府民館で報告講派

る廿五日宮随城する豫定である。 よつで鎌定を石家莊宮で延長し来 が明中であるが、石家莊の陪客に 深聯盟北支皇軍尉問駆け各部隊を

阿那少特を限長とする朝鮮軍事後

石家莊へ

頭、五百圓を國防駅金として差田

「發明朝鮮」を

めざす展覧會開く

非常時に藤明家を出さう』 主要専明品二百七十級といる油輪等を初めとして内鮮 とゝ強想されてゐる、

をみせ非常時に衝起する歌歌局

紳士帽子の豪華版 (チェッコ)

住品店のみにて配金O

山色酒 造

株式會缸

凼城

支支

店店

アイ

日本酒ノ代表

明明心醉心地

研究所の第一回協議者を開き

可長になり、一寸態破りのとこ **製研究所を開いて錦川周長自ら** 門所では事級部業の技術的政

の特達を聞るため周長底層の

七日浦州圏民生町並に腰東局より



金融有名にあり

登住廣島市出身である。 即の後下王家莊の蘇郷地を完入 りに肉部女肉町村三時間に耳

釜山からの

大氣豫報 (8月)

褪

北東の選を有向 南西の風を聞いたり

なったので態上半島産業軍の対北

北支大衆 にも悪ばれよう

折衝 の落が草であるが鮮産薬煙草はと だ

日下計畫中なので具體業はまた

長は語る 鈴川專賣局

が一の国の主北

仁川の潮時(9月) の風が生北

[小晚] 解] 時

山東に代つて關東州鹽移入

の心配無用

位置の領草を裏図してその地

トラストによる

鹽

| ウたが、この物域と関係の関係に対し、後来から影響とされてわた中である。

本府は十八日政務練整通牒を以つ て紅草十月十八日恒何によつて対 午後は参拜 京城の官公署 東た、手紙には ****

である。 を秘めた年しい謝職の手紙に二四億〇〇〇〇隊一兵士より』と

半を扱って輸出することになった

國旗は戸毎に

栗は北島

文盲者達へ 映性オー 編見ル 福の女 廿日まで

即6吉凶

時局が緊張してゐるだけ地質盟急











































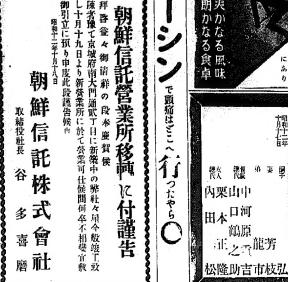




ルプローボ 他的技術元度的監督 食物製金質水目









十月十九日より新營業所に於て營業可仕候間何卒不相裝宜敷著豫て京城府南大門通貳丁日に新築中の弊社々屋今般竣工致 日益々御尚群の段奉座賀侯

磨社



懸案重視さる

地資金返還い野積融資問題

先の利害を離れて 人局を考慮せよ





時局研究會總會席一

仏迷を辿る

非は一腹一對の兄弟「筒井に覆の」件「ヘエ、けれども先生、覚明は

下達町に松井助太夫といふ神統沈 助「イヤ共に買べる事に買べる、こゝに相 州足様下 郡小田原の娘」せんか」 お話は妙な所から出ますものでしてお買ひなされるもやすございま



の名人に心を一めて戦って慌ひた る力は共揺に好かん、どうか現代るが、私はさらいぶ人の好も名も 又二本や、「を立っこのも持つて喜

の先生がございます。

田原の城内から召担へたいと云つ 内華はかりも六人居ります。小 て来ても、思君は自難うほどます 門人も二百人からありまして 伴「成種さうですれる、何度かに

出家中として歌を語じす故、折々 ゆる、お飾りを致します「然らば て、夏の御郷殿を伝ふる誠に解析しありさうなものだが…。て、ありが浪人切れた男子真佛奉公を致し、一一届君さうですよる。他はえに 助すしたく

登規数すやらにしろと云ふ、イヤ

田自井商店 朝取取引員 (神『此の希町の上に安井四郎芸術) 「何楽に」

お受むしないから、夏様も認めて「伴『二百六十億大名から、無調則・非漢挺三甲込んだがどうしても「薦、彼りや名人ださらだな」 ふのはがでございますと云つて断 戦の気に小量を縛られて了 助「安非荷蕉の河町にある事を 助「オウさうだいたな」といる先生がここいます」 れて居つたのは我なから映止于 と腹を叩いて松非助太夫、

つて干った。

一年に (大人日) という (大人日) (大人

も松井の躍を総一て独古に思りま 了ひましたが、京中の著様は何れ

に選文がある所を見ても、名人に

女中のおまつと云ふ二人限でごさしら、直ぐ頼みに行から、黄様一緒 います。夫に此の頃京都の近衝し一に行け 奉公人といっては仲間の伴助に 立つたが 吉日 といふ事 があるか 助子さらだ。では早速ながら思い速ひございません。

に御率公むして居りました妹の権。件「マナお止しなすつた方が宜う

ので持来所も實力と「個別をなく ので持来所も實力とあってる ないものと見られてある ないものと見られてある ないものと見られてある ないものと見られてある ないものと見られてある ないものと見られてある ないものと見られてある ないものはまれてある。 コニロの以五十入一六

此のお話は武服つた中にも聞があ ったお話を申上る事に致します、 って、忠善に成の道に厚く、血あ 本日から加生二男士と云・武弘 名人に一つの悩み 一龍矯貞丈演 木俣圪斓峭 事;

り、涙ありと我が田へ水を引く脚しがな、私は一つ宝の戦にするや | 伊「ハイ何か神用でこざいます | 助「仲助や仲助や」 | ざいませら 水一日助太犬が、 リーアヤ別段に用という部では、

一四七七八 一四七七八 一四七七八 一四七七八 一四七七八

川正米市況

我先七〇二袋煮零一〇〇袋 八二六五队袋入一、一六七 八二六五队袋入一、一六七 八二六五队袋入一、一六七

ではございませんが、面白い歌説「ちな名頭が欲しいと風ふ、云ふま を持ち度い、就ては其の最も人に でもなく例は武士の神大きく云 認みがある現他の名人と云はれる 人に扱って飲ひたいのだ 現とする物であるから天明れ名力 へは男子の親とも申すべきものだ

宗近とか云・守名な刀が敷らだつら、正宗とか言光とか、安柳とか 英大にお金がお有りなさるんだが

《四

一分らないもので、此の町内にあり、 作「樹朮・青山・大人・一様ので、 野へ過ぎては却つて、 一次 一様のではかって、 一次 一様のでは、

野といふ者が闘つて来て居ります。ございませら、食所が利田なされば残らしい大力で、気性も離れ、すばさつと安井先生と喧嘩が出来まには残らしい大力で、気性も離れ、すばに何ぬたら



敵は列車で南下退却 彰徳に新陣地を構築

際軍に列車により数々南下退却中 でり新に映地の情景を急ぎ抵抗の あるが、なほ一部の単は影響に |第の低器によれば京漢線方面の||遺影せる列車一幅 【石家莊十八日同點】十八日午前

推奨附近の規範に拡撃を加へ能は 東の手中に落ちたのである 資後)列車追撃隊の流河北沿跡。にして迷に河北一回は完全に我が「石京能十八日高峰(柱)同盟等「京)戦和の追離開始以来僅か「ケ月

にして途に河北一四は完全に我が

原建筑追略列車にて十八日承藤一めたので面に追撃に移り光級戦、

及び西方の山岳が南に徹定、列車「算だけでも数手に達するが、我軍 一箇列車を根路上に加楽し東南方がける酸の死性は各郷におけるは 名のみである

日七里の强行軍 京漢戰線を有利に導いた

軍の機能は大量一段落を見た情報。十七日も新規制能に存むとれる場所、を聞いた少年氏の歌きは傍の見る設計単微鑑道に對する我が推揮空。目前後二国の健康を受けたよ更に、つた、観みとする時上等兵の観光管が単位

香港十八日间製】廣東の軍事施一與へつくあるが、特に梧州は十五。遂に本月二日永睦し任権の領と時

同省内は早くも動搖

廣西に移る!

泥濘中を戰ひながら

野田、助川兩部隊

平原附近における機関において重

本上等兵は最前渡河の際寅先にク 送に〇〇部隊の愛嬌者となって前 許から複貨を頼ち異へて少年兵を た少年長は同窓際について離れずいたはつたところ、これに窓位し

大混亂

敵の列車を破壊し後方攪亂

我恩愛に甦る

原駅の各要地、軍事施設に打撃を | 大動情をおこしてゐる

ソ。去る十五日以来梧州、桂林、 その後は廣西に對する機能に

た、これがため廣西省内は早 的媒體を築り同地は大店駅に陥つ

施り真軍の概要に感应しながら、

の部上をは野戦病院の御見とな

【上海十八日间盟】○○南線の池 | 下頭貫通銃削を受けた、池本上兵 今は野戦病院の龍兒

一野鴨病院に牧谷し依を並べて企憲に支が中のところ、この語語解成 て二千萬頃を興強、解説明行

十二年度の豫算中

形脈あり、最近南支、南洋に於け

臣

億八千百萬回を門 節約するに一

に基く急機な資金並に軍諸品所要、算の証料を行ってき間の方針を決 四日の眼臓において支那事態疾生を問題する目的をもつて本年度 【東京電話】政府は去る八月二十一個限し作せて資金及野動力の健金

德州十八日阿壁】 外國觀散武官 外國觀戰武官

徳州府、直ちに〇〇本部に入り 〇郎隊長その他な際と會見継続 翌名は本日午前十時飛行機に 敵の主陣地に

O

別北、江麓、浦東の蘇圭曼戦地に一まった 逆戦隊の作戦に超力十歳回に近り 作用航空線は平明上り夕朝にかけ一番前西側にある。 【上記十八日同盟】

「映戦の十八日

は四時再び飛行機に搭乗路遣の

副業ら内職

注 大阪商船駅

完全に之を解破した。午後二時五 時二十分與非形、商橋関中は推揮 合計を通じ一億八千百萬間を節切 の海軍航空隊〇〇機は唯多縣(総一することに意見一致を見り 州東ガニ下キロ)において深地中の間議院上十二年度建築節約に題 の蔵里用作里十数領に爆解を加へ、する件として階級決定することと なった、節約額内線は左の通りで

法法律內 5次級 人

十分間、花本園:除指揮の〇〇機である(単位一千圓)

我さきにと列車に報込まんとして|管理局初め北四川路前方の経典一

異を連ねて飛び遊粉取遊館、 廿五分指軍監査版〇個は悪奈に如

【上海"八日同盟] 本日午前十時

反復爆擊

軍場は物准い派配別を呈した一幣に協能な反衝場撃を加へた

有点として逃れんとする連絡民は 解する者間田の有様である。 茲一 るとの報道に凍南市民は大型版を

ので本半度決算に於て不用額とな

些べ朝となるものとの双方を含 そのと、大年度以降の鎌草に続 南支邦人漁業に

那勝校の妻

ヘラルド紙の駆出するところに依 【東京電話】十七旦香港サレデー

問手藝

な世上大型で、大山 で別級毎月社 新起海洋 注 就 照 廣 告

カー チョッキ 婦人用セーター開空福

東、中側以下で作れるので大評判!! 手製の防寒排用の本品を 場の大へ兄弟へ翼心こめ B

經病。家庭療法

婦女界社會

省城南湖に一つ残れ

的大倉職によって艦隊に徹底的古 新の知かしき戦果を消した、更に子 傷、更に息もつかせず神道の近撃戦 酸つて以来河北敷局に一大体艦を駆を聴せしめ、石家能の最大機線を打

五十餘里を疾風怒跡の勢で席捲して河南省北部要衡たる彰徳に向つて一撃を加へんとするに至つた迫り彰徳の前級陣地を形成してゐる、斯くして我が京演級方面の皇軍は石家非を陷れてより八日、一續の敬と交取中である。、 嬰樂鎮は河南省北郡の一大要衝彰徳の北方三里、濱河を前面に見、線路

河北平

日ニューヨークに強したA・ド源:数のガス頭を駐職せり一宅、福祉に附近の政策に對して多

我海軍機

後大時陵去ー十七日夕、麓は柳宏

[上華十八日阿盟] 〇〇報准部午

ガス弾使用 敵またく

河北我手に歸す

三時十分京談線を基準せる列車進

敵の死體は數千

、中屋同盟特派以後)十七日一部州と野雄に郡県せる際を接続し つよ一層に似中央を突破し河南省

|数解を属て寒者を出義、幹を有に | べからざらの敷切である||を重弱に受け出郷な名誉の敷死を観観歌歌に移って以来十日武器、||は文献観が西京の歌にぶる|| 田宮殿の柴田信権少暦は不幸離別観報を開けます し少範銭で給を捨てて上陸し京漢、友軍の港田を容易ならしめたこと

少年兵は池本上等兵の数を見るとる一支那少年兵を衰見した。件の

は

閣様

是の

許し

を受けて

少年

兵を を受けてゐたが、蟾命物何もない

隊長自ら南京空襲 の権大に備へるため、一部特査を一定したが、その後大概省と各省の

本社見學 (上八田)

照けし近隣市方に於ては脱走中の「真る山西省北部木果の郷敷におい「誠にある保合少に漁田、十七日午

原電によれば失る十五、六兩日に

【上】皇軍堂々=定に入城【下】北平の名稱が北京に改められ

部隊は近縣附近並にその南方間城

見た近隣特書官へ初進重業状態を初めて

田電ブラッセルに向ふことになっ。 アメリカを含む板を開は歌電形の1行は来る11十11日ニューヨータ 南郷は独間間の暗跡が何であるが、物別側會職に出席のアメリカ代後 げるものと見られる。如う第一の「教別側會職に出席のアメリカ代後 げるものと見られる。如う第一の

-西班牙革命軍

バ群島を占據

相當遷延せん

が日支減学解決の實際的問題の詩。の疾略を確認次の分質な領表した相合題にするものと強烈され奇論。信間は十八日全ペレアリック群島

勝三十分衛軍規定隊于田那隊是は「蘇は我が有続の連日の猛撃に恐れ」うと主張してゐる。後つて有議に | の完全攻略を急ぎつくあつたが

「上燕子八日剛想」子八日年後四「統権成その俺を徹底的に粉砕した」圏の転撃を離約風だけに限定しよ。| ソ某命第政権はパレアリック

大校塲飛行塲軍事施設爆擊

不號五十錢(海洋)原前原 沿門 はず美肌秘法の類似語

道

價格また低廉である ③ 本類は直接心臓に働き全く初期の抑制作用を伸はず よく心臓機能を旺盛な らしめて低血壓を上昇せしめ高血壓の場合は却つて血壓を下降せしむ ③ 本剤は呼吸中枢を興奮せしむ 即ち呼吸困難促迫せるものに對し速かに呼吸

数を減少せしめ浅薄なる呼吸を増深せしむ。 且つ本側の呼吸興奮作用は在来 の呼吸興奮剤に比し係るとも劣ることなし ① 本剤は体内吸收後有害なる副作用なく安全なることは既に確認されてゐる

犬の呼吸及び血壓に對する作用

1% カンフェナール 3.0cm

1.0cc (5管人 10管入 50管入) 穿 量 2.0cc (5管入 10管入 50管入)

文献及び最近の文献"治療及處方七月號" 別州御中越水第登場す 但し要求に限る

製造元 財團法人 理化學研究所

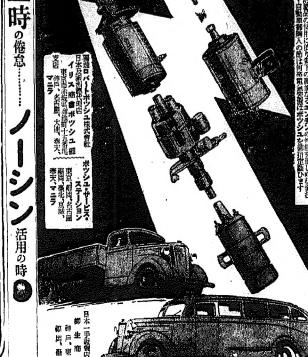
代理店 東京日本日本市 株式會社 田邊元三郎商店

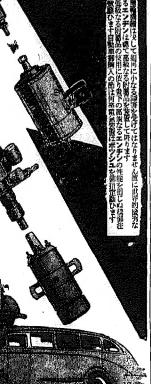
暗躍に浮き身の ブ元帥

抗が出来るか 文那は長期抵

井 特

活用の時





RC14

赴戦高原から鰮の海岸へ一走り

南總督咸南北視察隨件記



配脲內注射 (Pro. Kg. 0.5cc)



お子さまにも國防色が流行

やはりお母様が心をこめてお 今後は次第に品不足で、 軍國の秋を讃へ スポンなどには誠に受らし

差近の木立に、小國民のお取所監

物

0

活

方

ネクタイ皺伸し器

数もかららずいつもサッパリ

ネクタイに変々アイロンをかけ | 世神士道の私母となります。で手

から、数へ出したのが関の様な個 作り方は十八番位の針金でネク



草内黴膜美そのものです、鰹膜美 | 個性を生かすん?

けてのあなたのその小婆色に輝い

自然美ご 健康美ご

八四歩は早計

社ならず、着付けがなかく ざいますが、単変やセルとちが

そこで先つ何

がに帶製の美しさの目立つ頃で |よりも大切なのは下ごしらへです

給の著

●ではいるようとの値を作めてみた。 見さんのお弟子さん適と表に、恒例により仁川神社秋季祭城に際 |新連りに開催した率納隆花章の作品の一だが

先の機市は、務街より一分ほど



新白菜の麹漬

を上てまぜ合せて楠の底が隠れる

A 孤上病院 光

の場合は、輔付の前を後より七分 標の合はない方は、精神の機と 男子の淋疾は尿道内に潜在する淋菌を徹底的に 治療法は一長一短あり從つて淋疾は容易に全治 撲滅する必要がある。しかし之に對する從來の

しないのである。

銀と色素の化合物を粉末と

て展道粘膜の微細の部分

にまで平等に分布密道弾力によつて、却の、之を尿道へ挿入

とは云へ、それ以上の方法があるか。

である。 中へ流出するので、

内服薬を服用し、薬分を尿と共に、尿道内を湯 過させても、其の作用は尿道を通過する瞬間に 過ぎない。故に内服薬のみにては粘膜深層に潜

之等は水溶液であるために、直ちに尿道外へ流

述させる方法がある。

色素の粘膜深遠性とによつて、次の放尿時までし

徐々に溶解、変調しつ

、銀の殺強作用と

密音した粉末は、尿道内の分泌液のため

しからば洗滌、注入藥は?

出し、共の殺菌作用は、一回僅かに數分である

にて淋疾を全治せんとすれば、一日七八回行ふ 故に、たとへ效果ある洗滌、注入薬にても、

底不可能である。尙ほ洗滌、注入等は水脈力に 必要ありとされてゐる。しかし、その實行は到

は左程の影響に認いません、俳優丸が左右不同ですが自発的に

銀剤である。從つて淋疾の藥品は銀を主側とす

とも使用できるとす

事ではないか。かし、之は單に理想

《全で専門翳でなく

に続くべきもので

米、佛、製法特許)

元で名誉を高めてゐ

淋菌に對し最も殺菌力が强大なのは何かの

厄除と副作用なきものを條件とする。

選性が微弱であつて、細胞組織下の淋菌を殺菌

るものが多い。しかし單に銀劑のみでは粘膜深

在ナる淋菌を撲滅し得るもの、第二に安全にて

では銀と色素を化合し、

銀に色素を化合すべしとは最新の學説である。

しからば、その銀劑を粘膜に深遠せしむる方法

初感染は勿論の事、

4年、十数年の慢性

體化したものであ

智音と称すべきであ 及び専門外の醫家、

このウラルゴール

快心の結果を得た

内へ注入すれば理想的か。

銀と色紫の化合に成功すれば、右の方法にても

米、佛經專賣特許

歴性。或は再発の患者には、







が個の参考資料 般臨床家とが

〇 水脈 黒紺 ラシャセーラーズボン

A 品二個九十錢 お品二圓五十種

U. 1014

● 新校ラシヤ乘馬ズボン ● 外校ラシヤ乘馬ズボン へ 品三風八十針 ●紺セール水兵型セーラーズボ 二圓八十錢

純毛品四個八十錢

◎関防色ラシヤ乗馬ズボン B品二圓五十銭 ○米國製船來中折網子 ベロアー3圓90錢



中に粉末を充填し

して、直ちに溶解す

へ入れる事は到底

易である。

にて尿道内へ入れ。

敷もなく、前後の

れしば極めて簡単

煙ではないか。

かし共の粉末を尿









就て

親と價格 OOE EOO OHTE 一円芸の

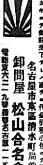
(社文は近期常配支権)のあれば スは中餐度は長行と基子 地方改造海軍陸戰隊型 黑苯氨上吡

改造加工ショル中古品ステ匹 へ新半張弟ァ打チ丈夫向品

本品の海軍ノ棉下水兵煙靴ヲ

町三ノー

度・東京・一九五 兵度(七四八 七四九 七四九



電話文大二一九智振磬名古版一一五一一年 卸問屋 松山合名會社

21 名古屋市東區清水町局前 おキュテ蜘蛛文下サレベ麻チュ代金引替小包ニテ送す外

に会配

【騰政府】楊州邦榮范面內各担果

[長溫]開春那進星面艺企里市村開

燃ゆる赤誠

とろこの程一千二百個となり、と第三次県軍が開袋を取締め中のと

【未同】沃川郡軍事後は慰望では

沃川の慰問袋

是業貨修校職員生徒一同▲二十公芥校勅使河原カゾ▲二四長副

▲二関九銭都内面松山里防薬剤(欧洲ごせてゐる)

献金美談の數々

月二十三日の生装根城日に留り面

【女山】按州郡泉観面では去る九|局霧徹を聴いて感謝し生菜兼国日

[是論] 附是附進原面民一同社時

【長温】郡震技ひの国防助金は左|総帯してゐるが事物を以來七十

のを全部務め四側を十五日献金

同二年生構英代子でんの姉妹は十 【七川】いちらしい銃後の花二輪 前岡小學校五年生補弱すさん

金東勳知事の所感

忠北道廳舍の落成式に當り

年に移轉した順舎がその三十年。を否誦して厳かに式を閉ぢた

州詩社で各部協議代代設立百翰名書・時半から近畿を譲遠で總有を開催して一般民衆に範を癒れる記を宣し五日午後一時中から所州朝私で宮

を
場、同十一時萬歳を三唱して
と時間に對応する緊急不致の情念
器と単軍の武漢長久が順祭を執行

止に感慨無量

廣州】郡內東部面校山里廣州文

售き殼を脱ぎ棄てゝ

儒林は起ち上る

忠北明倫會聯合會の總會で

銃後の赤誠を誓る

棚では十七日午前九時から國歌宣

如く考へられ首高道民と共に重式を築行したのも偶然の吉様のに相當する本年本月に新要落成

歌頭に勢行、更に同十時からは駐一揚、武邁長久新順祭、歌勝藩皆祭一即から二祖に別れ、一祖は殷郡欧一東洋紡の女工等數子名が手に了く「巍峨で高城を高らかに三唱して正一 聯合總會

おけし、ついで十七日は開候群 水原 邑では十七日午前九時

皇軍の戦勝を壽ぐ

ひの上質測を適めてるたがとの程。中の情報確認近路及び日曜引込み

地に要込み道士木隈の都技手立會一級の具體案決定によって目下工事」を待つばかりとなった

海、羅南を精心)は法月冊日から。は十三日來北、十四日現地を跨壺。り相互の願述をはかり翻然たる限

他上用地質収に取かるつた、右路|駅を明示した際で最早これが質現

【経恵】特望の清掃直頭鉄道(清 | 完了したので鎌道局清水工装銭長 | 校、その他工業地帯との職場を去

日の丸の大行進

津々浦々に揚る萬歳の聲

半島全土を揺がす

及外が観察を執行、終つて神遊グ | 事項に関しデマの放送をなし担造

性に繋がた関駁覚揚、鼻単の武選 位生徒見賞等一萬に近い市民参列

打構設近紅聯では盛んに事業開保 はも動だしい報道とか日本北全優 して南大震情化せんとしつ こある ず寒時的た処却であるとか又に遊

| 南は所開歌を総数の構植を繋廓と| 寝めるやうた場合でもその後に必 | 宜言 | 今や帝國は良|

極度の恐日病に慄きながら

盛んに强がる卑怯な態度

歌脚級分が溢れた はいて年後一時からは石家莊占領 が軍の武漢技久が顕祭を執行し、

市州 島では十七日午前九時

回顧す三十年の昔

| 水原神社で神音な治疗式、図訳な | 統行列を作つて市中を練り廻り器 | 図録合具、各初等影校生徒、蟾桃 | 郷における聴況を説明後急知事の が扱りつ > 頻繁十町に亘る長蛇の | め官民有志、寺平阪員、院建蔵員 合、解棄から金知度が北、中、南支 楊州の愛婦

は統領ある筋後の任務並行を指す るため十九日午前十時から那餐職

【講政府】経州郡内各受國婦人會「會を開催することになった 方的使れ一流の虚標事實で盛んに

である動係上この名様では不便が といふので提州面と改権方を抑か 面としたものであるが掲載所在地 理智時架北面と植夜面が併合架池

ら近常局へ上申中で近く認可され

戦した約二萬圓の金を數却し何段 な生活をしてゐたところ領主の申 のつたが鎖虫には一文も渡さず採

の理身柄は一件管類と共に検事局 野邑長の乾酔、最当形者代長の谷

氏の十一年度賢上高は二千六百九 静あつて同三時期式引載を映場会 開催終つて公會堂で盛宴を張った

のノーシンです。
理論より速効第一、安全第一、正確第一理論より速効第一、安全第一、正確第一

ソーシンです。痛んだらノーシンです。不眠不休の大活動に大事な頭が疲れたら

僾良煙草小

麓列車で長項の朝鮮製錬合計へ任)十九日午後一時三分上仁川

ーシンの優れた点は

唯だ頭の邪 けてなく、

『時に脳の疲れを恢 語がよれななないに止めるだ

主

里鄉遊園▲同郡風妙而武城里李 ▲田中忠南四番中以丁立日 沿州

りさせる獨特の藥効を併せ持つ復して、朦朧とした頭をヘツキな。

劝

們藥

30 50 1.00 2.00 5.00 【粉末と錠劑】

てゐる事です

と北支における光来の歌勝を一関界をいとも軽大に行ひ、引致さ | 各層校生性和五子名、各層領土に | 大豆・一切の | 大豆・一切

翌形式を駆行。村上収費所長から たものは左の通り

ジオマと演劇

永同愛婦

「永问】既報愛國婦人育分會の種 7仕生る十五日午後二時から公舎 | 晴 | 女性の腰囲に 分會總會 有功章授與

原州 ら内閣を納到で十七日 郷色三項して観音した年齢似とた 午前丁時中全世代本庭に随意、真一校出、宇和市では十四日午後

また部内黄澗面でも同日午館十時、神会と唯した 民各種種質量校生徒然多數理社に、皆祭を執行し更に十七日には文武 から官民各事校生生繁多数大神宮 |水||一十七日午前十時から官||見賞干餘名锋列長に泉軍の散勝率 議政府 十五日神明神前で

三時学改山神明神洞で官民及事技「民歌名が同時前に高軍の武退長久」と記し、技術部では十四日午後「を教行、更に十七日午前十一時市

新った後期行列に移り、市内を 仰州内面でも阿日官民数千名の

寫眞 でからに水

程に市内を支給物を作り頼り贈り、に参拝、引頼さ続行列を行つた。「官民千餘名参列の下に散勝率告祭」の各級別記載旅行列を行った。「官民千餘名参列の下に散勝率告祭」の各級別記載旅行列を行った。「官民千餘名参列の下に散勝率告祭」の各級別記載旅行列 廣州郡でも 共販を延期

四版資を行つたところ一等和一 と一般二間は成をがした。 十日、十五日

待望の清·羅直通鐵道

質現も目睫の間

工業地帶との摩擦も去り

怒よ用地買收開始

廣州にまた

【廣州】既報鄉內中配面山坡里

水原神社奉

运活北近明倫會聯合会長

□言 今や帝國は属に重大な 十六日午後二時から蘇壯境内で開 を時局に直面下我等時間 仕太刀山尾只著の開発、居全は大 と関する認識を消ぐし窓告持久、養婦の山尾只著の開発、居全は大 と関する認識を消ぐし窓告持久、養婦の山尾只著に再発素し、青 に関する認識を消ぐしこれでは、 の出版を関すると共に私よ 明、 古屋、 是神役の生徒、 小男侠 時間の古朋を関すると共に私よ 明、 古屋、 是神役の生徒、 小男侠 時間の古朋を関すると共に私よ も中集画二里龍三佰の所有場が

鑛主ごの山分の契約を破り 一萬圓横領 妾と同棲中にご用

有移金職の一區域を採掘させて黄一三百輪名田常典に際良徳並小政人 であつたか雷目者が草を数せる柳郷水西(**)に同頃金志徳氏の所 外参数米郷、頻草小政人及ご宗族| 百輪名列第の下に開建し続るを 【教育祖】平北昌短郡東倉面大福一内判郡、吉岡内防郡長、職野邑長一その他郡内各官公野長・分官員 外多數來賓、類草小寶人及び家族| 百餘名列帝の下に開催し顔る整命 校異、陳内地方協合はの明示、政 良小野人に對し芸賞及び賞品を

銃後に頑 國家を支

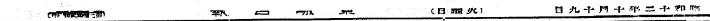
張る産業戦士の頭腦力こそ

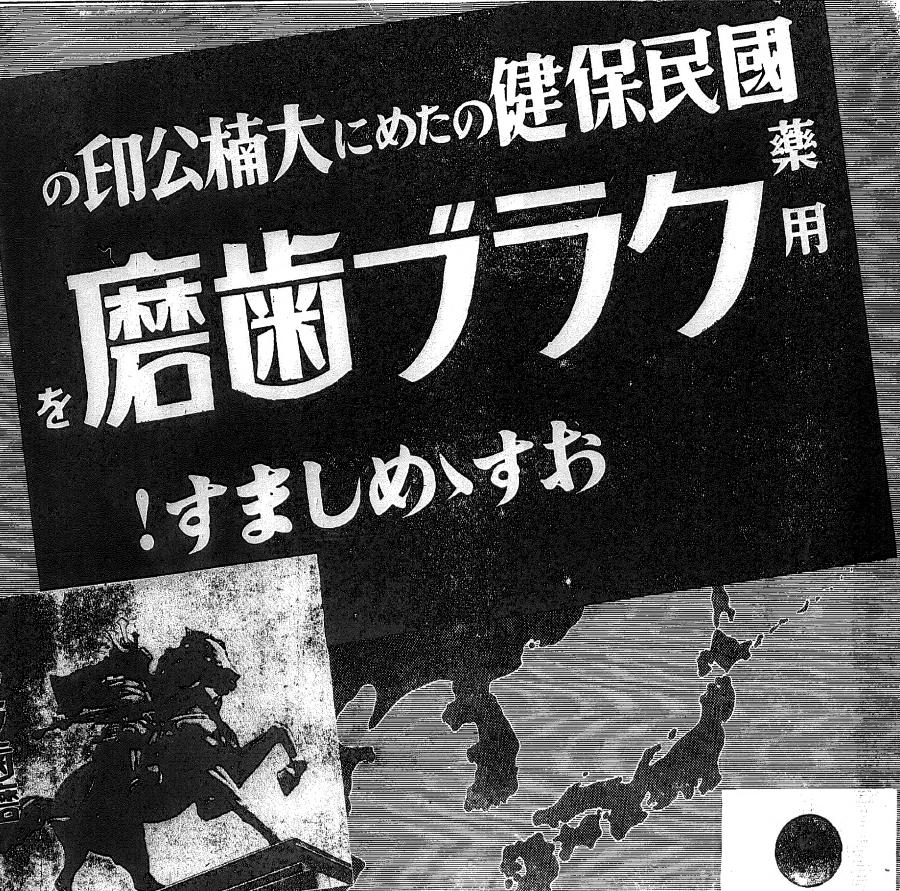
へる大黒柱です

原動力です

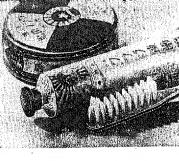
!を散らす産業戦

荒川長太郎合名會社 薬品部にあり全國の薬店・デバート





の新設を見 最近、國民 の保健衛生 下の一原因 上の使命は益々重大であります。 としてムシ齒の増加があげられ、齒磨 やうとする迄に至りましたが、体力低 の体力低下が問題となつて保健社會省 小をつくる



齒磨です。

なぜならば專賣特許の薬用殺菌劑クロ も信賴すべき科學的齒磨は藥用クラブ

ヴアクロール及びヨードチモールを配

ール・カル

この點、最

特

その原料を明示してゐるものは他にありません。專質特許の樂用殺菌劑クロール・ 等の副作用がありません。 菌、結核菌、化膿性葡萄狀球菌、連鎖狀球菌、大腸閉等を能く死滅させ、しかも何な、 けきえ くらうなす すいな このき ぎょう 大腸閉等を にこう すべき優秀な殺菌性能を備へてゐる上に、絕對に副作用がないのです。例へばクロージに、過れ、過れた。 カルヴァクロール及びヨードチモールは何れも殺菌劑として最新最良のもので特紙 爾端にも色々ありますが、薬用クラフ蘭語のやうに優秀な殺菌句を配合し、しかも ル・カルヴアクロールとヨードチモールの併用一〇、〇〇〇倍の稀釋液でチブスル・カルヴアクロールとヨードチモールの併用一〇、〇〇〇倍の稀釋液でチブス

るのです。小學校でも歯磨は……薬用クラブ歯磨と御指定を頂いてゐるほどです。 に味と香りがとても寒やかですからどんなお子様でも進んで磨く良い習慣がつくれ と共にヨードチモールのもつ樂理作用で齒齦を强化し、齒槽膿漏を豫防します。更 從つて甕用クラブ協磨は、ムシ歯や口臭の原因となる有害なバイキンを死滅させる。

シ齒を防ぎ惡疫 豫防する

する楽用クラブ歯磨を使ひ、強健な國民 うぞ非常時準戦時代の今ノ齒磨はムシ歯 の一人一人になりませう。」 を防ぎぬを丈夫にし國民保健の向上を意圖 ても、歯磨のもつ使命は頗る重大です。ど

クラブ半 煉歯磨・ ラフ 歯 磨…十三セン・十八 セン・二八セン・三五セン・五五セン …十八セン

合してゐますから…ムシ齒や口臭を防ぐのはもと

、惡疫等の醱防から云つても、優秀な

より、結核

性能をもつ

築理的齒磨だからです。

大友と紙

白衣の勇士楠伍長の歓び

陸軍病院の感激風景

一窓に臨の猛闘を沿び二大像の断盟、概は引張り県、部下戦友の家族の上帝兵と共に加はつたが信祭中不一トの戦友もどれく、と忽もその本

9本紙が報じた便気な漫画女風生 を慰める眞情をこめた手紙に金丁

飲食した婦人があつた、この雇し

い第二の独領婦人は難に除罪へ病

人て下さい」と脱名で金二千頃を

朝鮮本部に「愛國館の建設費に加」る、幸子さんは職務しなから語る

徴じた本紙の記事に訓唆されて十一

若草町の 楠本夫人

八日午後府郡を通じて愛國婦人会

来、難り上つて整んだ、同じパットた美雄二重要である

隊でも評判者

大司は の紙上對面が出 であった、本紙の肥準がとり

関を同封して裏字さんに送ったの

山野に無敵気軍が弾かしい戦果を取めつるあるとき

士の家に

は『京城日報の配事で見ましたが』 就後に除く白百合、皮城第一高女 会日**開戦の手根が停山器せられ** | 一家は銃旋の人々の開戦に騒迫し |年生百村英子さん("量)のもとに 英子さん威泣

朝鮮服の上衣に朝鮮神宮の守礼を ひの人形に指じるやうな縄の白い 常田した復画の胡蝉の婦人等々ー げて下さい」と家質らしいまじな です。職地のお兄さんに送ってあ

中につけると様にあたらないそう 來ましたものですが、この上衣を まの健康な知心にうたれました。 た無名の京中二年生、『私お懐さ れは朝鮮で古くから信じられて

一てゐる。開城、仁川の人々やまた一てゐる

米春はダイヤも大改正して

局鐵全線『高速化

つき満洲

輸入絶える

Quinteras Quin

専門治療法のキャメ

MITAMASA GERVICE

になるらしく蝉内金載の容載支紙。行ひ、スピードアップに舞へることが出北見行にも迷踪すること。で、その他の安観も近く試運轉を始めて代北見行にも迷踪すること。で、その他の安観も近く試運轉をいる。 分、古浅山、浅山間は二十七分で

懇痛北変の警院の骨大に伴ふて朝 | することょなり、観道局ではこれ | 輔では不足を告げるので約五十萬

ひ國際のダイヤ改正で新京大連を

たので氏子様代館の情報を買ひ式 國政官構武運長へ新願祭を執行し

【府尹の話】。

新州 **然 海 點** 院 4 9

协参□□ 淡

たが現城府代設の条列を見なかつ

京城神社では十七日午後三時から一開き府井開動の決議をなし、秋祭

京城府尹ご氏子總代

加工の発出し、

新キャーマポ**生命** 日野村島 四町寺宝久北西東市

点城市

とんだ紛れ

の政策機動と共に都権の政策を は全て能入社経したよめが大便 ところ今天市場別後のため九月

の輸入概三十九萬五千剛に上つた

数に強し、本年一月から八月ま

(唐辛子) は昨年四十七萬頭の冬

作がら何難に確入される報道

楽劇に努めることになった りを示してわる、農税局では野

後機代、祭典否は間に明確となっ

合、小川勝平、西衛源太郎、廣綱

0

告に限り特に寮側にて掲載する場所をは、日本の場合は、日本の場合は、日本ののでは、日本ののでは、日本のでは 日本のでは、日本の

及び祭典委員計四名が配務所に合 て十八日午後一時から總代世話係 復面で二千圓寄附

この夫にしてこの妻あり

備々十九時間で突ツ定り、鮮浦を を奉天まで延長し、釜山、奉天間を 放する祭客の便宜をはかることに なった、《あかつさ》の延長に伴 駐職批局では満様とタイアップし 定成してゐる遺物急々あかつきゃ て明春早々から鮮漢輸送のスピー ド・アップを貨権する計費をたて あるが、これが具體素として光 八時間の猛 スピードで 害虫心滅 大利[機関車 を定らせ、 説である
大利[機関車 を定らせ、 説である 試進轉の結果土壌、海州間は三十 が準備のためこの程度海越土域、 | 周を接じて、軽金属製のライトカ

し、一葉にスピードアップを一般行「が来天まで延長されると現在の重。 散散星を行び、明恋ダイヤを頻复」とになった、超微熱。あかつき。 **币街地計畫**

展展院に建か市団地計画を樹立丁(はれてゐた) 勝間中のところ、その符申を得た べく関係府会及び面協議会に原案 完成は三十年先き 『かちどき』に

込んたところ「今日は無して飲ひ

水めることになり恰も例祭に番列

あがる勝鬨 津田錦紡社長夫人から

慰問用に大量注文

十八日命川郡曹局長に兵庫縣芦|田美子』の文字を刷り込むことに 人の廃棄で書かれた「御歌問、神

素報講習の機能料を一日から七 来る十一月一日は第五回金属期特

観覧料半額デー 昌慶苑と徳壽宮の



女中 合所及供問答 出 西 内 内 市场及供問答 出 西 西 内 内 市场及供問答 出

から鎌邊され一陸東病院の一十日深東良尊から緑六里三角村方

なは同窓の後邊際維君外戦友も補

形に揺撃した支那軍の取損ナンセーブとばかりタリークの中に投け込一大義び「支那軍の馬鷹野郎」と駆・前鞭にあり進戦機に大塔があった曹に贈いた平総建ではないが深入「勿事とし天いで人形を一常にザン」たわがポ土は「小院常郷でり」と「村郷道郡長の〇隊長として前に最上に下海に大塔があった「上海工人目前盟」これは水島の「の地野で浮談をくすべて便作りの「弾工百餘に及んだのだ、これを見」砕として知られ、今文学場にも木「上海工人目前盟」これは水島の「の地野で浮談をくすべて便作りの「弾工百餘に及んだのだ、これを見」砕として知られ、今文学場にも木

をかよって深実、第一級の監察は 女生を少り七年以下と大きび「支那軍の馬鹿野郎」と駆 前親にありき戦略に大功があったたわが寄土は「中職策郷せり」と 村都道前長の〇階長として常に最

の出版軍人の勝間に贈るのだざら た。夫人の手紙によると限の荒野

田指吾氏夫人漢子さんであつ

上海第一線爆笑ナンセンス

(上)待ちに待つた祖國から○懷しい便りが殺到した野戰郵便局(中)負

軍の猛攻撃に非常な世紀と受けな ンス――既に四日も相掛牌して居

リーク前面の支渉軍は我

んだ、この水音に高いた支那軍は

果して「すわこそ日本本の来」」一時ならぬ頭かた場面を呈した

の手當をする赤十字看護婦(下)敵が使用した毒ガス砲彈(上離

つた郷人形の政衛だ、これは名案」の進職版にて石県市隊の三岩吉泉「部に貫通統脈を受け名聖の腹死を置ひついたのは撤正成の古代に撤」【急業権十八日時度】十八日機戦「前の艦より艦輪を浴せかけられ勝

部に貫通統則を受け名響の観死を一その場だ肝熱な最死を強けた、安 途げた、三村中尉は〇〇町院の権「重少佐は上陸以来常に第一般に動

まれ「残念」と只一語を残して、

け十七日午前二時頃折裾の左捺月 | 時二十分、双腳踹逃入の胚光頭のとばかり息遠郷人形約百名作りる | 中島(『七川と野藤田子―は午前三

た我が勝士、敵なくては相手にな

投げに投げつけるが地の利を持つ がらも執拗に抵抗を横げ、能なが

三村○隊長戰死 しの權威者 投げる投げたり手間

示の影響内に留まり弾丸回派を物

しもせず双眼鏡を持つて熱心に監

少佐(兵庫縣出身)は鷲川佑ヶ百

にして二十八歳未満の内地原門最校以上の歴校卒総者

概を有効適切に適用すべく財物局

柳後々関連品質用温調のため有規 品購入については優先権を集ふべ の特例を設け、右指定部目の国産 鹿品を用機能の偽統総、自助車を 昭和二年法律常四十一號を以て國 んもん

製五百萬円に達してゐることが明

思って、なって見たが描いた表

公署に於て右特例により関端品を

に於てまつ昭和十一年中全鮮の官

幻滅のお妾

員十八日**隆** 十七日午後六時半○

【上海前線〇〇にて吉川同盟特派

安藤少佐戰死

記者。事集

初め七十二種目を指定して食計法

進撃戦に輝く偉功

れず切貨援腕してゐたが、こゝに

「山宮平町四ノ二連窓差朝日租」、丁山祇韓駿福に決死隊となつて「蘇森鳴る〇〇部隊の代戦の勇一名を繋がせた瀬田部隊の斥終兵と

血胞い大 | 來たのであった、楠価長は九月二

西村賢一、産市南崎兵上等兵だ、

附本紙朝代に現を吸ひつけら│椿伝長と西村兄弟は保定攻略に贈

シ四村た居たり(麗山磐)な……兄弟 揃って田心した

『居るし 、戦友が居る……」 本紙を手に喜びの楠伍長

> 公化的圧鉄に何十回となく出動 週い人情に結ばれた 四村兄弟は除でも評判者です 週い人情に結ばれた 陸東病院第一號病室で補伍長 | んに誠心こもつた機関の手概を管 戦友の妹へ 激勵の手紙

部下を褒める楠伍長 き送り第一般の男士と統後の人は

水鳥の羽音ならで

形に驚く敵軍

の雅設資金に二萬圓を散名で審問一中の人、帝子さんはお確さんの機 教唆される軍人ホームク愛國館・「で今日の地域を築euのけた立志隊」事士を敷めるため難山陸電視院に「本氏実達は減鮮後コ十六年院二本-男士を慰めるため難山陸軍病院に

郎氏夫人等子さんごんと判明、補 四自動車販売ボデー製作権本言太 井小學校三年定平者(こ)幸二もや

高、金州十萬をそれで、收容 和四十二年を計載目標とし、總人 のでとれに基さ石計構案を決定、 る内容となってみる 口に於て群山は十三萬、大田十一

の川町で水準の跳も楽しい女手 に致しますのです。どうかね。5つ内地の腕柱線人の郷に教は失ぶで御羅いませうが強制的。で標準の郷に入れるカードは研を流に宜しる御羅いませるが強制的。で標準の郷に入れるカードは研をいからところで製造されま だ、鈴川局廷は大説がで早進派安のなたのところで製造されまだ、鈴川局廷は大説がで早進派安

手制が無ひ込んだ、しかも一萬 干流の大量主文だ、この部外な 人の注文者は今を時めく館制社

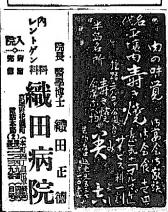
全鮮の官公署で使つた 國產品五百萬圓

生谷板 橋本日京東・社本 聘招長所張出

の使用額調

店支鮮朝 六五,三町楽永府城京







複、更に隣の店舗に突入したまし

入院随意 醫學博士德 永

·签山電話]十八日午後一時二十

とちさん。(一)西町二丁目浦田観」しては「一人の元素的院としたらさん。(一)西町二丁目浦田観」しているに附近の石薫物院というなられば「一川の一名の元素も総称を引った。

八名重輕傷を負ふ

に鍵を含し込んだまと一寸用途に

訂正 十九日北夕刊の一郎に

片信用ご三〇光は摩根、スキッチか同居トラクタに石炭を構設して

九郎工動所獲釋手標連續其一〇一八日午後共時半班景級新獎町三

酒見検事係で開かれ検事より無役

勲

に飛込む

危いいたづら

トラツク、店

假と受け監督を起し京都であるの四名は頭部、頭面、その他に本

曹操殺(三)及び陳来鶴(三)の明名 中である、釜山暑では配車を築の 及び西町大が外科に入院させ手幣

一川彰一氏(よ)

來客將棋倒

西州門町4八銭判所表通) 電話(光) 1 9 6 0 油

